

第23号

ひたちなか市文化協会会報「白亜紀」

白 亜 紀



ひたちなか市文化協会

題字

白亜紀

長山 素龍そりゅう

書道連盟顧問

由来

砂岩とシルト岩が互層を呈する7千5百万年前の中生代白亜紀の地層。白亜紀の岩に波の碎けるさまは悠久の命を感じさせる。文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見いだすことは、人々の変わらない願いである。人生は短く、芸術は永し、ひたちなか市文化協会の目指すものは悠久の芸術そのものである。

写真

文

「白亜紀岩礁新顔」

写真連盟会員
根本 昭一
写真連盟顧問
福田 仁

撮影場所は磯崎灯台下の磯崎海岸で12月中旬頃です。撮影者の根本氏からこの写真の説明を受け、撮影場所を聞かされたときには一瞬自身の目を疑ってしまった。海外の有名なサーフインの写真を彷彿とさせる巨大な波とサーファーの美事なまでの身のこなし。白波が湧き立つ遠浅の「中生代白亜紀」の地層が露出する磯崎海岸からは想像もできない写真であったからだ。

撮影者はこの海岸近くに住み、寸暇を惜しんでは姥の懷から阿字ヶ浦に至る海岸線を記録し続けているので決して偶然の一枚とは言えない。

地元のベテランサーファーによると、磯崎灯台下は北から東のうねり、かつ岩場のため潮が多いときだけサーフィン可能で、外国の波と引けを取らない良い波が割れるとのこと。当地区は春から秋までシーバスの釣場となるため、釣り人と譲り合いながらサーフィンを楽しむスポットとなるそうである。

目次

会長あいさつ	1	伝統芸能部門	
横須賀副会長を悼む	1	邦楽連盟	12
令和6年度活動報告		吟詠剣詩舞連盟	12
活動報告	1	民謡民舞連合会	13
総会	2	伝統文化連盟	14
芸術祭	2	華道・茶道部門	
一日体験教室	2	華道連合会	14
春の祭典	4	茶道連合会	15
団体の活動紹介		文学部門	
美術部門		俳句連盟	16
美術協会	6	棋道部門	
書道連盟	6	囲碁連盟	16
陶芸協会	7	文化協会組織図	17
写真連盟	7	お知らせ	17
音楽部門		編集後記	17
合唱連盟	8		
市民吹奏楽団	9		
市民オーケストラ	9		
Bトレイン・ジャズ・オーケストラ	10		
舞踊部門			
舞踊連盟	10		
洋舞踊協会	11		



華道連合会(草月流)による
迎 花「春の祭典」より



文化協会の願い

ひたちなか市文化協会
会長 川又 浄範

ひたちなか市では、昨年の11月に市誕生30周年を迎え、盛大に記念式典が開催されました。その際、表彰式が行われ、ひたちなか市文化協会は、「本市教育文化の振興に多大な貢献をされました」との内容で、表彰を受けました。歴代の先輩の方々のためめご尽力と、それを受け継いだ現会員、そして関係者の方々に、改めて敬意と深い感謝を申し上げます。

さて、日本は世界で、5番目に災害が多い国です。今月で東日本大震災から14年目を迎え、未だに2万8千人もの避難者がいるのには驚きです。文化協会では、昨年の能登半島地震の復興支援について話し合い、募金をしたところ、18万円が集まりました。この場をお借りして協力して下さった会員の皆様に深く感謝を申し上げます。

ここで、今年度の文化協会の活動

を振り返ると、コロナ前に較べても、各団体が、主体的な活動が充実し、楽しく活動していることが実感できました。

一日体験教室では、800人の参加者が楽しく意欲的に取り組み、教える者と体験する者が一体となれたことは、本当に素晴らしいことです。春の祭典では、市長・市議会議長のお二人が、展示一つ一つを丁寧にご覧になりました。創作者の方々もお二人と和やかに談笑し、今後の制作意欲が高まった様です。ステージ発表では、それぞれが、工夫を凝らし、ステージと会場が一体となり感動のある発表でした。

結びに、平和への願い、愛することの大切さ、美しいものへのあれ等、一人一人の願いを、これからの文化協会の活動の中で実現できるよう全員が、一丸となって精一杯努力したいと思っております。



横須賀副会長を
悼む

ひたちなか市文化協会横須賀幸正副会長が、去る1月7日に逝去されました。

横須賀さんは、平成29年にひたちなか市美術協会会長、令和2年にひたちなか市文化協会副会長に就任され、本市の芸術文化の発展に尽力されたほか、美術団体「三軌会」の絵画部長や茨城支部長を歴任されるなど、幅広くご活躍されました。

また、美術に対する深い情熱を持ち、市内の小学校や那珂湊児童館で

の絵画教室の講師や「ギャラリーサザ」の画廊担当を務めるなど、絵画を通じ豊かな心を育む活動で市民の美術活動を支えてこられました。

昨年当初に体調を崩され、入退院を繰り返しておられながらも、文化協会の理事会をはじめ市芸術祭美術展覧会の開催など、副会長の職務を精力的に努めてこられました。本市の美術振興に尽力し、けん引してこられました横須賀さんの突然のご逝去が惜しまれてなりません。

改めて敬意と感謝を申し上げますとともに、心から哀悼の意を表します。

ひたちなか市長 大谷 明

令和6年度 活動報告

- 4月19日 ・第1回理事会
ふぁみりこらぼ
- 5月2日 ・会計監査
ふぁみりこらぼ
- 5月10日 ・第2回理事会
ふぁみりこらぼ
- 5月24日 ・令和6年度総会
クリスタルパレス
- 7月19日 ・第3回理事会
ふぁみりこらぼ
- 8月4日 ・第6回一日体験教室
市文化会館
- 10月6日 ・芸術祭開催
市文化会館 他
- 9月19日 ・編集委員会
ふぁみりこらぼ
- 10月25日 ・第4回理事会
ふぁみりこらぼ
- 1月24日 ・第5回理事会
ふぁみりこらぼ
- 2月9日 ・第17回春の祭典
市文化会館



川又 浄範 会長



薄井 宏安 市議会議長



大谷 明 市長

芸術祭日程

- 10/6 市民オーケストラ第41回定期演奏会
- 10/8～13 美術展覧会第Ⅰ期(陶芸・写真)
- 10/13 第53回吟詠剣詩舞大会
- 10/22～27 美術展覧会第Ⅱ期(絵画・彫刻・書道)
- 10/27 日本舞踊公演 & 舞踊まつり
- 11/3 第54回民謡民舞秋まつり
- 11/9～10 第27回いけばな展
- 11/10 第43回邦楽連盟三曲演奏会
- 11/13～17 児童生徒作品展
- 11/17 茶道連合会茶会
- 11/17 俳句大会
- 11/24 ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会
- 12/1 合唱祭
- 12/8 パレエ&ジャズダンスフェスティバル
- 12/15 市民吹奏楽団第40回定期演奏会
- 12/22 Bトレイン32周年コンサート
- 1/12 市囲碁大会
- 1/19 第13回子ども伝統文化フェスティバル
- 2/9 文化協会総合発表会
「第17回 春の祭典」

総会

令和6年度 ひたちなか市文化協会総会

日時 令和6年5月24日(金)
午前10時30分から
会場 クリスタルパレス 長寿荘
出席者 39名 欠席者 3名
委任状 21名(構成員 63名)
議長 宮内 慶樹氏(市民吹奏楽団)
司会 初見 宗郷氏(邦楽連盟)

今年度の総会は、初見宗郷氏(邦楽連盟)の司会進行で開催され、川又浄範会長の挨拶で開始、来賓の大谷明市長及び薄井宏安市議会議長よりご祝辞をいただきました。

議長に宮内慶樹氏(市民吹奏楽団)が選出され議事に入り、令和5年度事業実績、収支決算および決算監査の報告があり、それぞれ承認されました。

議案の令和6年度事業計画、収支予算及び理事の承認については、原案通り承認されました。

役員改選では、理事会の決定に基づき正副会長留任で承認され、幹事には、磯崎洋二氏(美術協会)、若柳恵吾氏(舞踊連盟)を選出し承認されました。

質疑等はありませんでした。

芸術祭

美術展覧会上位入賞者

【寫真】	【陶芸】	【書道】	【絵画】
市長賞 教育長賞 市長特別賞 (委嘱出品)	市長賞 教育長賞 市長特別賞 (委嘱出品)	市長賞 教育長賞 市長特別賞 (委嘱出品)	市長賞 教育長賞 市長特別賞 (委嘱出品)
市長賞(特賞) 教育長賞(優賞Ⅰ席) 市長特別賞(優賞Ⅱ席)	市長賞(特賞) 教育長賞(優賞Ⅰ席) 市長特別賞(優賞Ⅱ席)	市長賞(特賞) 教育長賞(優賞Ⅰ席) 市長特別賞(優賞Ⅱ席)	市長賞(特賞) 教育長賞(優賞Ⅰ席) 市長特別賞(優賞Ⅱ席)
伊野 昂 酒井 正志 大高千恵子 秋濱 雄一	桜井 栄 大友 光男 赤津 陽己 原田 正己	大内 芳想 世田 柏葉 目黒 美心 高山 暢華	梅津 廣 根本 順子 安藤美知子 大内 勝美

芸術祭は、市民の芸術文化の振興と育成、向上を目的に開催しています。上記の日程で開催され、日頃の活動成果を発表しました。

展示部門である展覧会では、昨年以上回る出品数となり、市民の方の芸術に対する興味関心を高めると共に、会員にとっては活動に対しての意欲向上になった事と思います。

楽しく学ぼう芸術文化 第6回 一日体験教室

8月4日 市文化会館

今年度は12団体が体験教室を開催し、入園前のお子さんからご年配の方といた幅広い層で、約800人ものご参加をいただきました。

参加された方からは「家ではできない貴重な体験ができた」「やってみたかった楽器に初めて触れた」などの声が聞かれ、大変満足された様子でした。

今後も、普段は経験できない体験教室を提供することによって、芸術文化に対する興味を持っていただけるよう実施していきます。

体験の様子は写真でご覧ください。

一日体験教室の様子

絵画



書道



陶芸



▲ いけばな ▼ 民謡(三味線)



(箏) 日本の伝統楽器 (尺八)

囲碁



オーケストラ



▲ クラシックバレエ ▼ 日本舞踊



吹奏楽



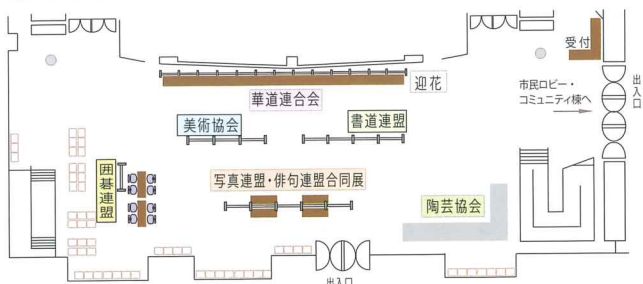
令和 7年2月9日(日) ひたちなか市文化会館 10時開場

舞台部門プログラム(大ホール)

※ 開始時間は予定です。進行の都合により
多少前後する場合があります。

市民オーケストラ	10:30～	バレエ組曲「眠れる森の美女」よりワルツ / オペレッタ「こうもり序曲」
市民吹奏楽団	10:50～	「プロローグ・ワン」「銀河鉄道999」「マイ・ウェイ」
邦楽連盟	11:10～	【根本玉登恵社中 他演奏】による 民謡組曲「ふたなしま」
合唱連盟	11:30～	【コロ・フィノ】による「女声合唱とピアノのための組曲「みやこわすれ」より 他
トレン・ジャズ・オーケストラ	11:50～	「ムーン・リバー」「サイモン&ガーファンクルメドレー」「マック・ザ・ナイフ」
休憩	12:10～	
主催者挨拶・来賓紹介	13:05～	
伝統文化連盟	13:20～	日本の歌・思い出のメロディー「七つの子」「シャボン玉」他 5曲
吟詠剣詩舞連盟	13:40～	「吉野に遊ぶ」「武蔵野を讃う」「春夜洛城に笛を聞く」他 3曲
舞踊連盟	14:00～	日本舞踊による「民謡お国めぐり」
洋舞踊協会	14:20～	【エリーダンススタジオ】による「フラダンス&タヒチアンダンス」
民謡民舞連合会	14:40～	「茨城大漁節」「那珂川の筏舟唄」「津軽あいや節」他 2曲
茶道連合会	15:00～	表千家による「立礼席」

展示部門(大ホールホワイエ) 10:00～16:00



第17回春の祭典

2月9日 文化会館

天候にも恵まれ、「春の祭典」が盛大かつ華やかに開催されました。春の祭典は、加盟団体が一堂に会し、一年間の活動の成果を披露する総合発表会として毎年開催しています。今回も舞台部門・展示部門ともに、見応えある素晴らしい発表でした。今後も、創意工夫に努め質の向上と、魅力ある催しを更に工夫して、皆様に喜んでいただけるよう努めて参ります。

右より
薄井宏安 市議会議長
川又浄範 会長
大谷明 市長



【舞台部門の様子】

市民オーケストラ



市民吹奏楽団



邦楽連盟



【展示部門の様子】



美術協会



書道連盟



陶芸協会

【 舞 台 ・ 展 示 部 門 の 様 子 】

合
唱
連
盟



B
ト
レ
イン・ジ
ャ
ズ・オ
ー
ケ
ス
トラ



伝
統
文
化
連
盟



吟
詠
剣
詩
舞
連
盟



洋
舞
踊
協
会



民
謡
民
舞
連
合
会



華
道
連
合
会



写
真
連
盟・俳
句
連
盟
合
同
展



囲
碁
連
盟



舞
踊
連
盟



茶
道
連
合
会



【団体の活動紹介】

美術部門

「本年の活動を振り返って」

美術協会事務局

磯崎 洋二

令和6年度は新入会員2名を迎えての開始となりましたが、昨年度と同じ総勢43名での活動でした。会員の高齢化と体調不良によりさまざまな制作活動の継続や計画への参加の難しさもある中、会員の協力の下、行事を進めてきました。

まずはじめに、ふぁみりくらぼにおいて人物研修会を行いました。モデルに茨城大学の学生さんをお願いしたのも創作意欲をかき立てたよう

で、熱心に一日を過ごしました。

8月4日に文化会館で行われた一日体験教室では、予想に反し、たくさんの方に参加いただきました。常に満員となり、入室をあきらめる方もでてしまうなど、今後の課題です。

市芸術祭は、当協会より上村、柏崎両名の審査員と渡辺正則外部審査員の3名で進められ、出品数は昨年よりやや減ったものの、丁寧な制作態度の作品が目立ちました。

今年は小品展が会場の都合で開催できなかったのですが、美術協会展は湊支所を会場として、例年通り2週間の会期で行うことができ、たくさんの方の来場者に見ていただきました。協会の行事以外にも、各会員は、

県や全国の公募展に出品したり、それぞれ作品制作のための機会を継続して行っています。

今後も困難さもある中、制作、発表、地域への貢献等、進めていければと思います。

書道連盟活動状況

書道連盟副会長

川野邊 泰雲

コロナ禍も表面的には落ち着き、西野香葉会長を中心に本来の取り組みに近い活動ができた一年でした。

6月5日から10日まで第48回市書道連盟展併催学生展を市民交流センター「ひたちなか・ま」で会員27名、学生45名の出品で開催しました。

また、8月4日の一日体験教室では定員30名を大きく超える54名の参加があり有意義に実施できました。今回も「ミニうちわ」に好きな文字を書いて作品を作ろうという企画でしたが、子供さん連れのご家族の他に大人の

方のグループの参加もあり好評をいただきました。

市芸術祭美術展覧会は10月22日より27日まで開催し、一般作品は昨年の17点から39点に増え、役員等特別出品21点と併せて60点を展示しました。更に別枠で小中学生の半紙作品を45点展示しました。今年は高校生が11点あり、練習量が豊富で熱心に取り組んでいる様子が目に浮かぶ力作ぞろいでした。今年の書道パフォーマンス甲子園で全国大会準優勝の水戸葵陵高校の部長さんの出品もあり見事入賞しております。

高校生の活躍は全国的な傾向で、1万8千点からの出品がある読売書法展では今年千点を越える高校生の出品がありました。これは運営側が



【第25回美術協会展】
那珂湊支所展示室
11/9(土)～24(日)



第48回書道連盟展併催学生展会場風景



芸術祭美術展覧会会場風景

学生の出品料や表具代等を優遇し援助したからです。来年以降この流れは益々大きくなるのではと期待されています。ひたちなか市でも今年は高校生の出品料を減額するという配慮により大きな成果を得たと思います。若い芽がどんどん育ってほしいと思います。

一般会員も各自それぞれ県内外で継続的に熱心に研鑽を積み活動しました。西野会長の書道研究清友会展は「書道を愛好する者が書道の研鑽向上に努め会員相互の親睦を図る」



一日体験教室の風景

「ミニうちわ」作成の様子

趣旨でギャラリーサザにて今年で第27回を数え盛況に開催しました。

会員親睦の場を

陶芸協会

齋藤 ひとみ

会員同士の親睦を図るための事業を今年度からは是非とも再開したいとの会長の思いから、7月に会員参加の懇親会を開催しました。

また、8月4日文化会館での一日体験教室、21日には市民交流センターでの協会展、9月12日には講師を迎え技術講習会の実施。10月8日から13日までの市芸術祭美術展覧会への出展などの活動を行いました。

そして11月12日の研修旅行では栃

木県馬頭広重美術館を見学。那珂川町の画家で現代美術家の一人渡辺豊重氏の遺作展が開催されており、鮮やかな色彩とユニークな作品が展示されています。

また、同じ那珂川町に工房を構える藤田製陶所



工房内作陶中の作品

研修旅行

小砂焼の藤田陶製所工房で説明を受ける



広重美術館での集合写真

で作陶されている小砂焼こいさじやきを見学。この地小砂の陶土は良質な品質と深い光沢があり「金結晶」として知られています。ふくろうや来年の干支、巳年の置物などが作陶されていました。

現在週に3回の作陶を各グループ毎に行っていますが、グループ外の方々との交流が少なくなっています。この様な研修会や懇親会は会員の皆さんの情報交換などのおしゃべりの場としても必要だと感じています。会員数が毎年減少している現実があり少しでも多くの方に陶芸の楽しさを知ってほしいと切に願います。

管野千代子写真展 「二つの祖国」をみて

写真連盟会長

平野 伸生

師走の12月13日、姉妹都市那須塩原市文化協会黒磯支部の管野千代子氏から写真展「二つの祖国」の案内をいただき、会員と共に「いきいきセンター」に行きました。会場は黒磯駅前在り、車で2時間。6年間も交流が続いていると、黒磯はさほど遠くは感じない。

写真展は、1990年内戦が勃発したルワンダ共和国から日本へ逃れた女性マリールイズ氏の記録写真である。現在福島市に在住し、命の尊

音楽部門

歌と仲間にも魅せられ30年

合唱連盟

コロ・フィーノ団長 金子 雅江

今年、結成30周年を迎えました、女声合唱団コロ・フィーノの紹介をさせて頂きます。団名は、スペイン語で「素敵な歌う仲間たち」です。

現在は、堤五郎先生ご指導のもと、ピアノストの佐藤真紀先生、ボイストレーナーの堀江貴和子先生、団員11名で活動しています。

毎年、市合唱祭、県合唱祭（昨年だけは遠方だった為欠場）、佐野コミセン芸能祭に参加しています。

また、昨年は同じ市内で御活躍の、合唱団

【タンポポ】さ

んと大人の発表会と称して交流を深めたり、同じ堤先生ご指導の団との合同で、アンサンブルフェスタや、国際シニアゴールデンウェーブ

in横浜にも出場しました。

そして1月恒例の「勝田全国マラソン大会」当日には、テーマソング『君よ勝田の風になれ』を毎年、当団が依頼を受けてランナーに歌でエールを送っています。

今年は、2月の春の祭典、そして合唱一日体験も担当となっています。練習曲は、ほぼ日本歌曲ですが、名曲『ラシーヌの雅歌』をフランス語で歌うということにも挑戦しました。

団員一人一人がとても練習熱心、そして本当に心優しく助け合い励まし合い、仲間を想う気持ちは、どこにも負けない自慢できることの一つです。



コロ・フィーノといえば、この衣装



第76回 茨城県合唱祭



那須塩原市文化協会黒磯支部美術展に特別出展
清水、酒井、川又、益子の4名が表敬訪問 4/6㊥



春の祭典「俳句と写真コラボレーション」
会場を訪れた大谷市長も興味津々
市文化会館 2/9㊥



市写真連盟展
那珂湊支所展示室
R6.3/9㊥～17㊥
来場者500名
黒磯支部の皆さんを
交えて記念写真

【写真連盟の年間活動】

さと平和・教育の大切さを知ってもらおうと慣れぬ異国の地で活動している。30数枚の写真の内、導入部の10枚は内乱時の暗い写真。その後は地域の人々と一緒に活動が続ける姿を菅野さんが撮っている。口惜しいかな震災以来100余日福島浜通りを撮り続けてきた私だが、こんな生

き生きした写真は撮れない。マリールイズ氏に身を寄せ合い、女性ならでこそ撮り得る写真だと感じられた。菅野さんは、「第25回酒田市土門拳文化奨励賞」を受賞している。
「写真は記録」と言われるが、今回は改めて原点を思い起こさせてくれた写真展であった。



市芸術祭美術展覧会第1期
市文化会館 10/8㊥～13㊥



写真連盟と俳句連盟とのコラボ展
市民交流センター 8/26㊥～9/2㊥

そんな仲間とユニークな堤先生だから、練習時間は毎回笑い声が起こり、和気あいあいと心地良い時間が流れ、練習ももちろん充実しているという2時間です。

見学はいつでも自由です。団員は全員、合唱初心者。音取りはもちろんのこと、リズムも丁寧に指導してもらえますので、初心者大歓迎です。月に3〜4回の練習。火曜日の14時から16時まで。詳しくは、佐野コミセンにお問い合わせください。お待ちしております。

活動紹介

市民吹奏楽団事務局長 宮内 慶樹

当団は、12月15日に「40周年記念第40回定期演奏会」を、市文化会館大ホールにて開催しました。

今回の演奏会は、第1部は世界的指揮者の小澤征爾氏や佐渡裕氏に師事した指揮者の堺武弥さん、第2部は作曲家として活躍している清水大輔さんをゲストとしてお迎えし、



40周年記念 第40回定期演奏会



第40回定期演奏会 第3部合同ステージ

『プロローグ・ワン』、『マードックからの最後の手紙（2021年度版）』、『原石の未来』などの曲を演奏。また第3部では、一般から募った参加者63名と団員の合計137名での合同ステージを行い、『宝島』、『銀河鉄道999』などの曲を演奏し、40周年記念として盛大な演奏会となりました。

『プロローグ・ワン』、『マードックからの最後の手紙（2021年度版）』、『原石の未来』などの曲を演奏。また第3部では、一般から募った参加者63名と団員の合計137名での合同ステージを行い、『宝島』、『銀河鉄道999』などの曲を演奏し、40周年記念として盛大な演奏会となりました。

最後にありますが、ここまで活動が続けてこられたのも、市文化協会のご支援やご協力があったからだと思えます。心より、感謝申し上げます。これからも聴いて下さる皆様が笑顔になる演奏や、市民の皆様にあられるバンドを目指して活動していきますので、市民吹奏楽団をよろしくお願ひします。

活動報告

市民オーケストラ団長 櫛田 眞

今年度は10月6日に「第41回定期演奏会」を市文化会館大ホールで実施しました。

近隣の演奏家として今回は水戸市在住の若手ヴァイオリン奏者、石坂淑恵さんをお招きし、ブラームスの



第41回定期演奏会 ゲスト出演：石坂 淑恵氏

ヴァイオリンコンチェルトを演奏しました。この曲はヴァイオリン協奏曲の中でも大曲に当たる曲ですが素晴らしい演奏を披露していただきました。

メイン曲としてはチャイコフスキー作曲の交響曲6番『悲愴』を演奏しました。どちらの曲も大曲であり一年間の練習成果を披露しました。また3月8日にしあわせプラザで「ファミリーコンサート」を実施いたしました。

その他文化協会主催の一日体験教室、春の祭典に参加しました。

最高の思い出から得たものと伝えたいもの

Bトレイン・ジャズ・オーケストラ
石井 幸次郎

年末の恒例行事となったBトレイン・ジャズ・オーケストラの第32回定期演奏会は、12月22日市文化会館大ホールにおいて開催しました。

今回のチケット販売は文化会館および、メンバー全員による知人・友人などに対して「声掛け運動」の結

果720名の来場者となりました。

私は、第8回からメンバーとなり今に至っていますが、今までの定期演奏会で特に思い出に残っているのが、サキソフオーン奏者「マルタ」さんとの共演でした。共演が決まっていたことは普段の練習がより充実していたことを思い出します。演奏会当日、大ホールを満席に近い観客で埋め尽くし、共演の際は「胸はドキドキ」、「足はガクガク」でしたが、共演してみると自分が上手になったのかと錯覚してしまうほどの演奏内容でした。それから何回かプロの方との共演を経験し、バンド自体も成長したような気がします。

現在32回定期演奏会を終えました。が、ここ数年若いメンバーも増え、自分の年は変わらないのに平均年齢がグッと下げられたのは「嬉しい？」の一言です。これからは、若いメンバーにもプロの演奏者との共演を経験してもらい、音楽の楽しさをより一層感じてもらえたらいいなと思っています。まだまだ若いのに馬力では負けないと思っている自分「負けてる」と感じとっているのかも知れませんが、あと何年メン

バーとして残れるかは自分自身の努力次第。20代から70代のメンバーが共に一つの音楽に打ち込むことの楽しさを感じとりながら日々の練習に打ち込めています。



TP: 石井氏



第32回定期演奏会

舞踊部門

令和6年度芸術祭参加

舞踊連盟

西牧 恵美子

日本舞踊&舞踊まつりを今年も無事開催することができました。これもひとえに、関係各位の皆様のご理解、ご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

前日の10月26日のリハーサル、翌27日の本番は古典舞踊11番、小唄・端唄舞踊6番を発表しました。

檜舞台の初めは、長唄新曲『松の三番叟』で幕が開き、出演会員が次々と日頃の稽古の成果を発表しました。今回は、初舞台が2番あり、小唄『白扇の』は入門3ヶ月、常磐津『東都獅子』は入門一年ですが、それぞれに初心者らしく一生懸命に踊りました。最後は、常磐津『山姥』で踊り納め、終演となりました。

邦楽の音色に親しみ、踊ることの楽しさが心の豊かさを育て、日々の暮らしの中にゆとりと充実感をもたらしてくれる。それが、伝統文化の持つ「力」と実感しております。

舞踊連盟会員一同、今回の芸術祭を目指し、更に精進してまいります。

清元小曲「うちわ売り」



常磐津「山姥」



日本舞踊 & 舞踊まつり

常磐津「鶴亀」



長唄「羽根の禿」



長唄新曲「松の三番叟」



バレエ&ジャズダンスフェスティバル

洋舞踊協会会長

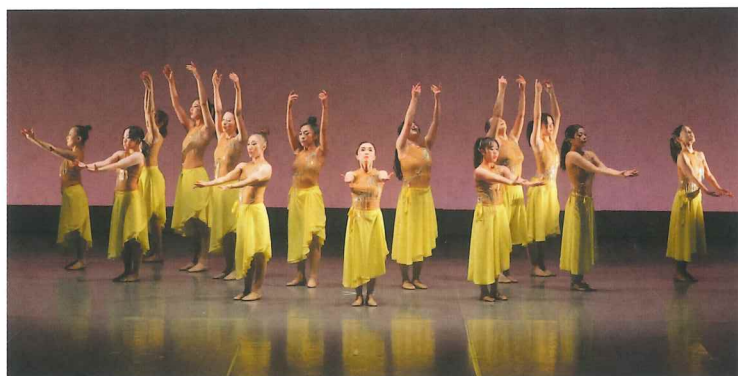
及川 英美子

第47回となった市芸術祭の華やかな舞台も無事に終了しました。今年も5団体から100名を超える出演者が各団体のテーマに沿ったダンスを披露しました。

可愛いバレリーナ達の踊りから、美しいパ・ド・ドウまで夢のようなバレエシーンの数々に観客の顔が輝きます。

又、クールなダンスからコミカルな動きまで飽きさせない踊りで観客を魅了したのはジャズダンスです。今年はフラダンスとタヒチアンダンスも色を添え一段と熱を帯びたステージとなりました。

多様性を求められる時代、洋舞踊協会も格式や伝統を踏まえながら更なる前進を目指して参りたい、と思っております。



スタジオ・マービン



エリーダンススタジオ



ハレルヤジャズダンス

伝統芸能部門

楽しむことを忘れずに！

邦楽連盟

初見 佳秋

初見佳秋社中は、三絃とお箏を勉強している人達の集まりです。主に江戸時代から長い間受け継がれてきた古典を中心に勉強していますが、時にはジブリ映画の主題歌などのポップスや新曲の合奏も楽しんでます。人数は10人位ですが、世代は中学生から70代の方まで幅広いです。

演奏会の

時には、社中として、代表曲をみんなで演奏します。指揮者はいないので、お互いのあうんの呼吸を感じながら合奏します。考えてみれば、10代から70代まで

の方達が、一緒に気持ちを合わせて一つの曲を演奏するなんて、凄いとだと思います。

三絃やお箏のお稽古へのかかわり方や価値観はそれぞれ人によって違います。また、古典を習得するには長い年月がかかります。無理をせず、楽しむことを忘れずにお稽古していただきたいと思います。

そして、お互いに出会えたことに感謝し、少しでも豊かな人生の一助になればこんなに嬉しいことはありません。

一緒に詩吟・剣詩舞をやりませんか

吟詠剣詩舞連盟事務局長 山下 勝司

第53回吟詠剣詩舞大会が10月13日に市文化会館小ホールにて開催されました。今年度は日立地区の大会と重なったため、一部の会員が参加できない事態になり、演目件数は減りましたが、律詩（8行詩）、歌謡吟詠、新体詩、紀行文などの長い詩が増えたため、所要時間的には昨年と同レベルの大会となりました。

大幅増の12吟の律詩、幼少年による、童謡『紅葉』と漢詩『山行』で構成された歌謡吟詠や島崎藤村の新体詩『千曲川旅情の歌』等、新しい挑戦もありました。『千曲川旅情の歌』は、元は分かれていた2つの詩が藤村自身によってひとつにまとめられたものです。前半が有名な「小諸なる古城のほとり」で、学生の頃に暗記した方も多いでしょう。これは前回大会で演じられましたが、今回は後半が演じられました。これらの他、松尾芭蕉の「奥の細道（平泉）」が今様入りで披露されました。剣詩舞も14差が吟に乗せて、華麗に、



ハレルヤバレエ



高木バレエスクール



2024邦楽連盟演奏会「楫枕」



2024邦楽連盟演奏会「人生のメリーゴーランド」

また力強く演じられて観客を魅了し、大会は盛会のうちに終わりました。



第53回大会 吟詠の様子



第53回大会 剣詩舞の様子

また、今年度も多くの当会員の皆様が日本クラウン、日本コロムビア等の全国的なコンクールに挑戦されました。そのなかの日本クラウン全

国大会には当連盟から2名が勝ち上がり、そのうち、岳風会の黒澤桂一氏が全国5千人の中を勝ち抜き入賞され、晴れて日本クラウン吟士の一員になりました。詩吟普及のため今後のご活躍を期待します。

当連盟では詩吟をやりたい方を募集しています。私も現役の頃は忙しく引退してから本格的に詩吟を始めました。定年を迎えこれからどうしようかと悩んでいる方、私たちと一緒に詩吟・剣詩舞をやりませんか。詩吟は健康にも良いと言われています。下記にご一報いただければ幸いです。

連絡先 ☎ 029-274-2814
連盟事務局 山下 勝司

発足54年を振り返り

民謡民舞連合会民舞担当 柏倉 恒子

高齢化による会員減少で支部単位での団体出演ができず全体での取り組みを行う中で、民舞では振付けに鳴子や稲棒を取り入れ新たな構成で全員が楽しめる踊りで、毎月2回の合同稽古を行い、春秋まつり大会の、

開幕やフィナーレを飾っています。

本年の春まつり大会には、ゲスト出演を迎え市民と共に観賞しました。芸術祭秋まつり大会では、市誕生30周年を記念し市の民謡特集10曲を紹介しました。また2部門のコンクールを行い、演技をみがき全国大会に挑戦していきます。



春まつり大会「花笠おどり」

芸術祭秋まつり大会

また、市内コミュニティ芸能祭に参加し地域祭りを盛り上げています。施設のボランティア慰問演芸など福祉活動にも力を入れております。



「猿島豊年音頭」



「那珂川の筏舟唄」

市長賞	磯節	市議長賞	筑波山唄	市教育長賞	稲あげ唄	市文化協会会長賞	南部牛追い唄
生田目義昇	西村 昌司	元木長次郎	小林 文男	樂友会	菊石会	楽浪会	芳月会

【芸術祭秋まつりコンクール特別賞】

出演者と観客の一体感を目指して…

伝統文化連盟事務局長 初見 佳秋

当連盟主催による「ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会」は、新型コロナウイルス感染症の心配も癒えたためでしょうか、遠くは兵庫県をはじめ県内外から沢山の方々にお越しいただき、昨年以上の高い評価を頂戴したものと自負しております。

特に今年度の舞台は、会場の皆さんが容易に理解できるような演目を取り入れ、例えばNHK大河ドラマ

に因んだ「源氏物語絵巻」や、野口雨情心の旅路「思い出のメロディー」の演奏、郷土の誇れる民謡『三浜盆踊り（提灯踊り）』等を披露しました

たが、解説や司会原稿も専門語をなるべく避けて平易な言葉に置き換えるなどして、会場の皆さまと出演者が一体となれるように工夫しました。当連盟では、「会派や分野を越えた交流」をさらに進め、ひたちなか市の芸術文化の更なる進展のために微力を尽くして参りたいと思っております。今後も市民の皆さんのご支援をいただきますようお願いいたします。



〈第1幕〉煌めく若人たち



〈第3幕〉音で綴る「源氏物語絵巻」



〈第3幕〉三浜盆踊り（提灯踊り）



〈終幕〉思い出のメロディー

華道・茶道部門

花との出会い 人の出会い

華道連合会会長 西連地 三枝子

私たち、華道連合会は文化協会の支援を受けながら様々な行事に携わり参加、活動しています。

芸術祭いけばな展には多くの来場者がありました。また、一体験教室では猛暑日が続くなか多くの方々

が参加され準備した花材は瞬く間になくなりました。次から次へと体験の申し込みがありお断りすることが申し訳なく思った次第です。

日本の伝統文化であるいけばなも伝統を守りつつ時代に即して日々の暮らしに彩りをそえる花として活かし生かされています。

花と出会い、人と出会い、時を過ごす事は心が癒されます。タンポポの綿毛が風に舞い小さな種がやがて大きな輪となり一歩、一歩と前に進む事が出来れば幸いです。



総会後の研修会（モンゴル楽器演奏 蒙日音楽ユニット竹馬）



小原流会場風景



草月流会場風景

第27回いけばな展

市文化会館 11/9㊥～10㊤



いけばな展出瓶集合写真

3月18日総会を開催し、事業報告・計画、決算・予算案等について協議し承認を受け、6年度の活動を開始しました。

各社中、個人等、伝統的な日本文化である茶道の普及・振興を計り、又、技能の向上に励んでいます。

茶道連合会の主事業である芸術祭連合茶会を11月17日に開催しました。

茶道連合会会長

高野 新一

充実した一年



研修会集合写真
(香取神宮にて)



芸術祭連合茶会



裏千家



表千家

表千家「秋深黄葉山」、裏千家「紅葉舞秋風」と言う床に掛かる軸により広大な秋の空間を表現し、軸下の花入れに面前の秋模様を表現している。



講演会の様子

菊地 弘氏 陶歴

明治学院大学経済学部卒業
愛知県立瀬戸窯業高校陶芸専攻科修了
昭和50年笠間焼にて修行
昭和57年御前山村に山王窯を開窯
以後、数々の受賞、認定を受ける

フランスセーブル陶磁美術館招待
出品し国際的にも活躍
日本工芸会正会員
日本陶芸美術協会幹事
茨城県美術展覧会委員審査員
茨城工芸会事務局長等を歴任
平成28年に全てを退会しフリーで作陶中

笠間焼から益子焼が生まれ、その後の発展隆盛について、250年の歴史、そして令和2年に日本遺産認定を受ける等細かく理解する事が出来ました。2時間近い熱弁の講演となりました。

【講演会】 11月23日(土)
講師 菊地 弘氏(陶芸家)
演題 「私と笠間焼」
笠間焼と歴史と未来について

ます。さわやかな秋空の元、たくさんのお客者を招く事ができ、充実した一日でした。

文学部門

一年の主な活動

俳句連盟会長 大野 ひろし

◇吟行会

10月20日(22名参加)
酒列神社・阿字ヶ浦海岸周辺

【当日の上位句】

天高し亀に託した願い事

箕川たきこ

白亜紀の灯台抱く鰯雲

鈴木 敏男

椿の実お宮参りの小さき手

通野 弘美

秋潮や同姓多き海難碑

安方 墨子

秋高し婚をみちびく巫女の鈴

笠原 真枝

撫で亀の賽銭へ濃き秋日かな

大野ひろし

赤子にも願うことあり天高し

伏屋 雅子

大野ひろし会長特選

通野 弘美

椿の実お宮参りの小さき手

安方 墨子

秋潮や同姓多き海難碑

◇芸術祭参加俳句大会

11月17日(38名参加)
市文化会館

【募集句の部 投句数344句】

市長賞 堀江八重子

身仕度の仕上げは笑顔初鏡

市議会議長賞 大野ひろし

麦藁帽脱げばひと日の日の句ひ

市教育長賞 井出 半句

昭和とはバケツに重き秋刀魚かな

市文化協会賞 笠原 真枝

アルバムの二十歳の母と日向ぼこ

市俳句連盟会長賞 坂場 俊仁

香りごと刈り取つてゆく稲刈機

大野ひろし会長特選 熊沢 敬之

ぼた山を赤く染め上げ晩夏光

高橋 和彌講師特選 大野ひろし

麦藁帽脱げばひと日の日の句ひ

【当日句の部 席題「豊」】

市長賞 根本都木子

たつぷりの墨で命名豊の秋

市議会議長賞 笠原 真枝

豊饒の大地へ帰す捨案山子

市教育長賞 小松崎黎子

豊満な志功の女人冬菫

市文化協会賞 藤 洋子

豊の秋八十路の手足使ひ切る

市俳句連盟会長賞 大野ひろし

豊かさはモノより心小鳥来る

大野ひろし会長特選 笠原 真枝

豊饒の大地へ帰す捨案山子

高橋 和彌講師特選 小松崎黎子

豊満な志功の女人冬菫

棋道部門

令和6年度囲碁連盟の活動

囲碁連盟会長 石川 菊之助

6月23日、常陸太田市の生涯学習センターで県北市町村囲碁大会が行われ、連盟から15名参加しました。

5月13日から14日・11月11日から12日の宿泊2回にわたり、いこいの村涸沼で囲碁研修会を実施しました。各日10余名の参加者があり、夜遅くまで研修し、有意義な日程でした。泊先の食事がバイキング方式で非常に美食なのが印象的でした。

9月1日、日立市囲碁大会が、生涯学習センターで行われ、連盟は2部門で優勝しました。

新年に入り、1月12日では、今年

度の総まとめの第27回市囲碁大会が84名の参加者の中で、ワークプラザ勝田で行われました。最年少の中学一年生、女性2人、90歳前後の高齢者等々の参加者で行われ、それぞ



実行委員長挨拶



ひたちなか市囲碁大会の対局風景

れ熱気に包まれた雰囲気の中、一期一会の精神で実施しました。大会はトラブルもなく順調に進行し楽しく終始しました。

しかし、やはり高齢者傾向なので、会場の設営やこれまで等々、スタッフには沢山の御苦労をかけました。昨年も書きましたが、若い囲碁愛好者が増えまことが念願ですが、その傾向が旧態依然としては正されず、どのようにこれから運営していくか、大きな課題であります。

この他、月例大会、ミニ大会(月4、5回)と年間を通してたゆまない活動をしています。

ひたちなか市文化協会組織図

分野	団体名	代表者	団体数・会員数
美術	美術協会	山田 幸夫	(1団体) 43名
	書道連盟	西野 香葉	(3団体) 21名
	陶芸協	渡辺 祥子	(1団体) 48名
	写真連盟	平野 伸生	(1団体) 22名
音楽	合唱連盟	榎 和 美	(14団体) 228名
	市民吹奏楽団	川 又 浄	(1団体) 52名
	市民オーケストラ	櫛 田 眞	(1団体) 53名
	トレンジャズオーケストラ	櫛 原 勇	(1団体) 24名
舞踊	舞踊連盟	西川 扇 紀	(3団体) 30名
	洋舞踊協会	及川 英美子	(5団体) 220名
伝統芸能	邦楽連盟	初見 宗 郷	(6団体) 64名
	吟詠剣詩舞連盟	鈴木 輝 明	(11団体) 160名
	民謡民舞連合会	柏 倉 豊	(13団体) 107名
	伝統文化連盟	鈴木 誉 志	(4団体) 63名
華道・茶道	華道連合会	西連地 三枝子	(5団体) 138名
	茶道連合会	高野 新 一	(2団体) 61名
文学	俳句連盟	大野 ひろし	(3団体) 49名
棋道	囲碁連盟	石川 菊之助	(2団体) 111名

18団体 (77支部団体) 1,494名

会長
川 又 浄 範

副会長
横 須 賀 幸 正
(令和7年1月7日まで)

櫛 田 眞

監事
磯 崎 洋 二
若 柳 恵 吾

事務局
生涯学習課

お知らせ

能登半島地震義援金を寄付

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の義援金として、文化協会の会員から寄付を募り、18万円を、川又会長と櫛田副会長が茨城新聞社ひたちなか支局に届けました。

ひたちなか市誕生

30周年記念式典で文化協会

「教育文化功労」で表彰

令和6年11月1日市文化会館において、ひたちなか市誕生30周年記念式典が開催されました。当協会は、これまでの活動の成果が評価され、この式典において「教育文化功労」で表彰を受けました。

当協会も、令和8年度に30周年を迎えますので、今後とも会員相互の連携を密にし、地域文化の振興発展を進め、その役割を積極的に推進して参りたいと思います。

編集後記

コロナもマスクも日常にすっかり馴染んでいる日々の中で「好きなこと」「やれること」「行くところがあること」に年を重ねて幸せに感じられます。

やはり、その年にならないと分からない事に気が付く、今日この頃です。

今後も文化協会の方々にお世話になり協力していただきながら各団体の皆様が好きなのに、元気に楽しんでいける事を願っております。

編集委員長

委員長

(華道連合会) 清水 正子
(美術協会) 磯崎 洋二
(舞踊連盟) 若柳 恵吾
(市民吹奏楽団) 宮内 慶樹
(民謡民舞連合会) 高橋 和弥
事務局 生涯学習課 木田 伸子

会 報
発行日
発行者
事務局

白 亜 紀

令和7年3月31日

ひたちなか市文化協会

ひたちなか市市民生活部生涯学習課
(ふぁみりこらぼ内)

TEL 029-272-6301

FAX 029-272-9297



文化協会ホームページ